

## 乳用牛の暑熱対策

### 1 体温の上昇を抑えるために

- 牛舎外からの熱の侵入を防止
  - ・牛舎の屋根、壁への断熱材の利用、白色系塗料を塗る、屋根への散水
  - ・遮光ネット等を利用して直射日光を遮断する
- 牛体からの熱を発散させる
  - ・大型扇風機、ダクト送風機、スポットエアコン等による送風  
(体熱が蓄積される夕刻から夜間にかけての送風が有効である)
  - ・細霧装置による散水  
(送風機との併用が効果的である、ただ湿度が高くならないように注意)
  - ・牛体の毛刈り
  - ・夜間放牧を実施したり、飼育密度を薄くする
- 熱発生量の少ない飼料を給与する
  - ・消化の良い良質粗飼料を与える  
(粗剛なものほど熱の発生量が多い)

### 2 食欲低下による栄養不足の防止

- エネルギー摂取量の確保
  - ・高いエネルギーで嗜好性の良い飼料を与える
  - ・夜間に飼料給与を行う
  - ・分離給与の場合は粗飼料から給与する、また給与回数を増やすことによる必要摂取量を確保する
- 牛体の健康に注意、食欲増進を計る
  - ・飼料添加剤(ビタミン、ミネラル、サプリメント等の利用)

### 3 乳房炎の防止

- 畜舎及び牛体の清潔保持
  - ・クモの巣を除去したり、畜舎の清掃に務める
  - ・牛体の洗浄及び乾燥
  - ・牛床の乾燥



飛騨家畜保健衛生所

TEL(0577)33-1111 Fax 32-9019 E-mail:c24508@pref.gifu.lg.jp

異常など確認された場合には、至急ご連絡ください。